

群馬県学校農業クラブ連盟主催

令和5年度平板測量競技会が開催されます！！

- ☆ 群馬県学校農業クラブ連盟が主催する平板測量競技会は、昭和29年以来、70年続く伝統ある競技会であり、群馬県学校農業クラブ連盟に所属する高等学校の生徒が、日ごろの授業等で培った平板測量の技術を競います。
- ☆ 最優秀チームは、10月に熊本県で開催される全国大会への出場権を得ます。
- ☆ 第1回大会から群馬県の農業土木技術職員が競技会運営と審査に協力しており、本年度も農村整備課及び各農業事務所の職員が、将来の技術者育成の一助となるよう支援します。

【日 時】 令和5年7月26日（水） 9時～14時

（雨天時は屋内作業のみ実施）

【会 場】 群馬県立勢多農林高等学校（グラウンド及び校舎内）

所在地：前橋市日吉町2丁目25-1

電 話：027-231-2403

【競技種目】 平板測量

【出 場 校】 勢多農林高等学校、利根実業高等学校、

藤岡北高等学校、吾妻中央高等学校 計4校

※昨年度の全国大会では、「吾妻中央高等学校」のチームが優秀賞を受賞しました。



（令和4年度大会の様子）

(群馬県学校農業クラブ連盟発行「研農 2022年 第73号」より)

平板測量講習会
令和4年6月9日木
平板測量競技会
令和4年8月2日火
勢多農林高等学校



競技会の様子



競技会の様子



優秀 3位チーム



優秀 2位チーム



最優秀賞チーム

全国平板測量競技会 優秀を受賞して

群馬県立吾妻中央高等学校

環境工学科 3年 木村 悠 星

私たち環境工学科3年生の3人は、8月2日に群馬県立勢多農林高等学校で行われた平板測量競技会群馬県大会で最優秀賞を獲得し、10月26日に富山県砺波市で開催された全国大会に出場しました。県大会は5角形の図形ですが、全国大会は例年6角形となるので、県大会と比べ観測数や面積計算過程が増え、難易度の高い競技内容となります。難易度が上がった平板測量でも誤差を少なくするために常に3人で数値の確認をし、平板手の視準においては顔の角度などを考え、細かなところまで詰めていくことで着々と誤差は少なくなってきました。10月に入り、詳細な全国大会の実施要項が発表され、全国大会に向けて期待と不安を感じながらの練習となりました。しかし、メンバー全員が3年生であることから、練習期間において各々の進路に向けた活動が重なり、補員もいないことから選手3人全員が揃って練習できる機会が少なく、思うように練習ができない中での大会参加となりました。

大会本番は風もなく本当に素晴らしい秋晴れでした。各都道府県代表を目の前に緊張を感じました。第1次作業では落ち着いて作業ができたものの閉合差が12cmほど出てしまいました。第2次作業、第3次作業では3人とも落ち着いて作業することができ、大きなミスもなくいつも通りすすめることができました。しかし、三斜法と三辺法で算出された面積を確認すると、その較差が大きく入賞は厳しいか、とも思える結果となりました。

翌日の朝、朝食前のホテルで私たちが優秀賞に入ったと知らされました。日本一の結果を残せなかったことは残念でしたが、入賞ができ、とても嬉しく思います。

最後に、県大会そして全国大会に向け、ご指導や練習場所の提供をしてくださった先生方や、送迎など私たちをサポートしてくださった保護者の方々に感謝を申し上げます。そして、最後まで一緒に戦った仲間に感謝します。本当にありがとうございました。